



美濃路って?

垂井 大垣 墨俣 起 萩原 稲葉 清須 名古屋 宮

【美濃路の起源】

今から約400年前、織田信長の次男・信雄がつくらせた幅5間(約9m)の幹線道路が原型であったとされています。

【美濃路とは】

美濃路は、東海道の宮宿(熱田)と中山道の垂井宿を結ぶ全長14里24町15間(約57.5km)の幕府直轄の脇街道で、道中には名古屋、清須、稻葉、萩原、起、墨俣、大垣の7宿が置かれました。各宿には中山道と同じく50人・50疋の人馬が置かれ、五街道に次ぐ重要な街道とされました。

【どんな人が通行を?】

1600年の関ヶ原の戦いにおいて、勝利した徳川家康が凱旋の帰路にこの道を通ったことから「吉例街道」とも呼ばれています。また、三代将軍・家光をはじめとする徳川將軍の上洛、参勤交代の大行列、朝鮮通信使や琉球使節、お茶壺道中などの通行にも利用されました。1728年には、將軍家へ献上された“象”も通行しました。

【なぜ美濃路を?】

京・江戸への往来に際し、東海道利用よりも遠回りになりますが、七里の渡し(海路)や鈴鹿峠(山越え)などの難所がなく、安全性が高いため、女性にも重宝され、多くの旅人が利用しました。



美濃路の主なスポットを教えて?

〈稲葉宿エリア〉

01

せんげんじ
禅源寺



室町時代に創建された約650年の歴史を誇るお寺。3代将軍・徳川家光が上洛の途中急病になり、和尚が治癒したことから、表道具に御紋を付けることを許されました。以来、門の上や飾り瓦などに葵の紋が用いられています。朝鮮通信使や琉球使節なども宿泊や休憩に利用しました。

住稲葉1-6-2 ☎0587-32-0531

*見学は電話にて問合せ



問屋場 といやば

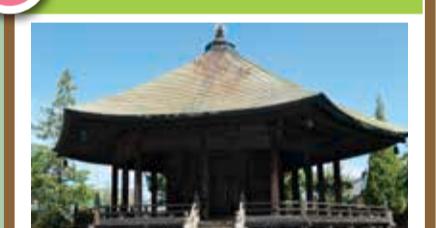
問屋場は、参勤交代の大名家や幕府の公用の旅人たちが宿場を利用する際、馬の手配や次の宿場まで荷物の継ぎ送りをする人馬の継立(つぎたて)業務と、幕府公用の書状や品物を次の宿場に送る継飛脚(つぎひきやく)の業務を行った宿場の中核的施設でした。

本陣・脇本陣 ほんじん・わきほんじん

本陣は、1635年参勤交代の制が定められたことにより全国の宿駅に設置された宿泊・休息施設で、諸大名のほか勅使、宮門跡、幕府役人、外国使節などが利用しました。脇本陣は本陣の補助的な宿舎で、本陣の宿泊客が多いときに利用されました。

02

せんげんじ
禅源寺



1161年に平頼盛の寄進により創建されたお寺です。境内の真ん中に建つ地蔵堂が六角の円堂になっているため、六角堂と呼ばれるようになり、地名の由来にもなりました。地蔵堂および地蔵堂内に納められている「鉄造地蔵菩薩立像」は、国の重要文化財に指定されています。

住稲沢市六角堂東町3-2-8
☎0587-32-3971

*境内見学自由
(地蔵堂内の見学は電話にて問合せ)



信長ゆかりのお寺!

長光寺は、若かりし日の信長の遊び場といわれており、境内奥には信長が愛飲したと伝わる臥松水の井戸が残っています。

こんな言い伝えも…

地蔵堂内に納められている「鉄造地蔵菩薩立像」は、「世の中に悪いことが起こる前になると、全身に汗をかいて人々に知らせる」という言い伝えから、「汗かき地蔵」とも呼ばれています。



03

いなばじゅく
稲葉宿の中問屋場址



稲葉宿には美濃路で最も多い3か所の問屋場が置かれました。小沢村の東問屋場を伊東家、稲葉村西町の西問屋場を両家が交代でつとめました。1問屋場2日交代でつとめています。

住稲沢市稲葉3 ☎0587-22-1414
(稲沢市観光協会)

*見学は電話にて問合せ



問屋場 といやば

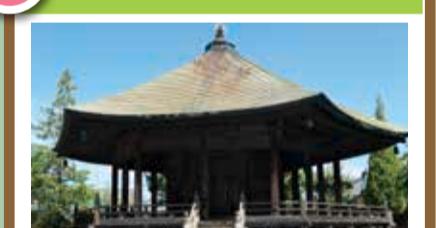
問屋場は、参勤交代の大名家や幕府の公用の旅人たちが宿場を利用する際、馬の手配や次の宿場まで荷物の継ぎ送りをする人馬の継立(つぎたて)業務と、幕府公用の書状や品物を次の宿場に送る継飛脚(つぎひきやく)の業務を行った宿場の中核的施設でした。

本陣・脇本陣 ほんじん・わきほんじん

本陣は、1635年参勤交代の制が定められたことにより全国の宿駅に設置された宿泊・休息施設で、諸大名のほか勅使、宮門跡、幕府役人、外国使節などが利用しました。脇本陣は本陣の補助的な宿舎で、本陣の宿泊客が多いときに利用されました。

04

こうのみやいちのとりい
国府宮一ノ鳥居



天下の奇祭「はだか祭」で有名な国府宮の一ノ鳥居が美濃路に面して立っています。

住稲沢市御供所町 ☎0587-23-2121
(尾張大国靈神社)

*見学自由



信長ゆかりの地エリア

南北朝時代に創建されたといわれています。ここに安置されている「木造虚空蔵菩薩坐像」は、南北朝時代の寄木造で大変美しい姿をしており、25年に一度しか持ることのできない国指定重要文化財です。

住稲沢市北市場本町3-3-1
☎0587-32-6334

*見学自由

(信長の焼け兜の見学は電話にて問合せ)



信長ゆかりの地エリア

南北朝時代に創建されたといわれています。ここに安置されている「木造虚空蔵菩薩坐像」は、南北朝時代の寄木造で大変美しい姿をしており、25年に一度しか持ることのできない国指定重要文化財です。

住稲沢市北市場本町3-3-1
☎0587-32-6334

*見学自由

(信長の焼け兜の見学は電話にて問合せ)



信長ゆかりの地エリア

南北朝時代に創建されたといわれています。ここに安置されている「木造虚空蔵菩薩坐像」は、南北朝時代の寄木造で大変美しい姿をしており、25年に一度しか持ることのできない国指定重要文化財です。

住稲沢市北市場本町3-3-1
☎0587-32-6334

*見学自由

(信長の焼け兜の見学は電話にて問合せ)



信長ゆかりの地エリア

南北朝時代に創建されたといわれています。ここに安置されている「木造虚空蔵菩薩坐像」は、南北朝時代の寄木造で大変美しい姿をしており、25年に一度しか持ることのできない国指定重要文化財です。

住稲沢市北市場本町3-3-1
☎0587-32-6334

*見学自由

(信長の焼け兜の見学は電話にて問合せ)



信長ゆかりの地エリア

南北朝時代に創建されたといわれています。ここに安置されている「木造虚空蔵菩薩坐像」は、南北朝時代の寄木造で大変美しい姿をしており、25年に一度しか持ることのできない国指定重要文化財です。

住稲沢市北市場本町3-3-1
☎0587-32-6334

*見学自由

(信長の焼け兜の見学は電話にて問合せ)



信長ゆかりの地エリア

南北朝時代に創建されたといわれています。ここに安置されている「木造虚空蔵菩薩坐像」は、南北朝時代の寄木造で大変美しい姿をしており、25年に一度しか持ることのできない国指定重要文化財です。

住稲沢市北市場本町3-3-1
☎0587-32-6334

*見学自由

(信長の焼け兜の見学は電話にて問合せ)



信長ゆかりの地エリア

南北朝時代に創建されたといわれています。ここに安置されている「木造虚空蔵菩薩坐像」は、南北朝時代の寄木造で大変美しい姿をしており、25年に一度しか持ることのできない国指定重要文化財です。

住稲沢市北市場本町3-3-1
☎0587-32-6334

*見学自由

(信長の焼け兜の見学は電話にて問合せ)



信長ゆかりの地エリア

南北朝時代に創建されたといわれています。ここに安置されている「木造虚空蔵菩薩坐像」は、南北朝時代の寄木造で大変美しい姿をしており、25年に一度しか持ることのできない国指定重要文化財です。

住稲沢市北市場本町3-3-1
☎0587-32-6334

*見学自由

(信長の焼け兜の見学は電話にて問合せ)



信長ゆかりの地エリア

南北朝時代に創建されたといわれています。ここに安置されている「木造虚空蔵菩薩坐像」は、南北朝時代の寄木造で大変美しい姿をしており、25年に一度しか持ることのできない国指定重要文化財です。

住稲沢市北市場本町3-3-1
☎0587-32-6334

*見学自由

(信長の焼け兜の見学は電話にて問合せ)



信長ゆかりの地エリア

南北朝時代に創建されたといわれています。ここに安置されている「木造虚空蔵菩薩坐像」は、南北朝時代の寄木造で大変美しい姿をしており、25年に一度しか持ることのできない国指定重要文化財です。

住稲沢市北市場本町3-3-1
☎0587-32-6334

*見学自由

(信長の焼け兜の見学は電話にて問合せ)



信長ゆかりの地エリア

南北朝時代に創建されたといわれています。ここに安置されている「木造虚空蔵菩薩坐像」は、南北朝時代の寄木造で大変美しい姿をしており、25年に一度しか持ることのできない国指定重要文化財です。

住稲沢市北市場本町3-3-1
☎0587-32-6334

*見学自由

(信長の焼け兜の見学は電話にて問合せ)



信長ゆかりの地エリア

南北朝時代に創建されたといわれています。ここに安置されている「木造虚空蔵菩薩坐像」は、南北朝時代の寄木造で大変美しい姿をしており、25年に一度しか持ることのできない国指定重要文化財です。

住稲沢市北市場本町3-3-1
☎0587-32-6334

*見学自由

(信長の焼け兜の見学は電話にて問合せ)



信長ゆかりの地エリア

南北朝時代に創建されたといわれています。ここに安置されている「木造虚空蔵菩薩坐像」は、南北朝時代の寄木造で大変美しい姿をしており、25年に一度しか持ることのできない国指定重要文化財です。

住稲沢市北市場本町3-3-1
☎0587-32-6334

*見学自由

(信長の焼け兜の見学は電話にて問合せ)



信長ゆかりの地エリア

南北朝時代に創建されたといわれています。ここに安置されている「木造虚空蔵菩薩坐像」は、南北朝時代の寄木造で大変美しい姿をしており、25年に一度しか持ることのできない国指定重要文化財です。

住稲沢市北市場本町3-3-1
☎0587-32-6334

*見学自由

(信長の焼け兜の見学は電話にて問合せ)



稻沢市内の美濃路を歩いてみよう!



稻沢市と美濃路

稻沢市は、名古屋市の北西に位置し、かつては尾張国の政治・文化の中心地として国衙が置かれていた歴史あるまちです。江戸時代には東海道と中山道を結ぶ美濃路が市内を通り、道中の宿場の一つとして稻葉宿が置かれました。

稻葉宿エリア

稻葉宿には、家数336軒、人口1,572人、旅籠屋8軒、本陣・脇本陣各1軒、問屋場3か所がありました(1843年)。『尾張徇行記』には「商屋軒を連ね、木綿問屋、油紋屋、酒造屋など繁盛なる市町なり」と記されており、かつての稻葉宿はかなりの賑わいを見せていたようです。中問屋場をつとめた伊東家の前には現在石碑があり、格子の立派な町家造りが歴史を伝えるなど、当時の雰囲気を感じさせる町並みが残るエリアです。

名鉄国府宮駅発着コース

徒步区間全長 (約5.7km)	
名鉄国府宮駅	1.9 km
記念美術館	1.7 km
津島道の道標	7分
稲葉宿中(石碑)問屋	4分
稲葉宿	4分
藤市酒造	4分
中部電力 旧稲沢営業所	4分
本陣跡 稲葉宿	12分
小沢一里塚跡	1.0 km
名鉄国府宮駅	12分

*「美術館・保健センター」から名鉄国府宮駅まで、名鉄バスあり。



信長ゆかりの地エリア

JR清洲駅の東側から四ツ谷追分跡に向かって街道を歩くと、狭い道の両側に民家やお寺が並んでいます。

龜翁寺の木造虚空蔵菩薩坐像、長光寺の鉄造地蔵菩薩立像など国指定重要文化財の仏像を所蔵するお寺のほか、本能寺の変直後の信長の焼け兜が遺っている総見院、信長が愛飲した井戸水が湧いていた「臥松水」のある長光寺など信長ゆかりの地も多く、歴史の鼓動を感じができるエリアです。

JR清洲駅発→名鉄国府宮駅着コース

徒步区間全長 (約6.0km)	
名鉄国府宮駅	3分
尾張大國靈神社	9分
国府宮三ノ鳥居	11分
長束正家邸址	6分
長束一里塚跡	25分
四ツ家追分跡	4分
丹羽盤桓子誕生地	4分
浅野長勝宅址	1分
北市場美濃路公園	4分
龜翁寺	3分
総見院	7分
JR清洲駅	

